

事業所名	つつじ学園		公表日 令和7年 3月 26日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	21	12	状況に合わせて各クラスが使う支援室以外の部屋や屋外スペースも活用して活動を組み立てている。	基準は満たしているものの、状況によってもう少しスペースのゆとりがあった方がよいと感じる場合もある。引き続き支援室以外のスペースも活用していく。 個別対応が必要な児も多いため、個別のスペースを確保するのが難しい場合がある。パーティションやクラス支援で使用しない部屋も活用していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	24	9	特定のクラスの担当ではないフリー職員を配置し、適宜必要なクラスの応援に入っている。	基準は満たしているものの、個別対応が必要な児も多いため基準よりも手厚い体制の必要性を感じている。支援時間だけでなく、支援にまつわる事務をはじめとした各業務についても、限られた人員、限られた時間の中で遂行していくことに難しさが生じている。業務の効率化や限られた人員での対応のしかたなどについて、他事業所の例なども参考にしながら検討していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	24	9	スケジュール等は写真カードを用いるなどして視覚的な支援を行っている。またパーティションを用いて、視覚的な刺激を整理したり、活動スペースを区切って場所と活動を一致させることで分かりやすい環境を設定している。	使い勝手の悪い備品もあるため、新たなものの設置を検討する必要がある。また、収納スペースが限られており、支援に絡む物品の保管場所に課題がある。必要物品の購入や日々の整理整頓と適切な保管場所の確保に努めていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	28	3	未回答2	建物内に経年劣化している場所が多くみられる。市の指定管理施設であるため、不具合箇所については市にも報告し、対応を求めている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	27	6	クラスの部屋とは別に、個別に使用できる部屋があり、適宜活用している。	個別の部屋についてのニーズが多く、使用するタイミングが重なってしまうことがある。必要なタイミングについて職員間で共有し、限られた部屋を有効に活用できるようにしていく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	30	3	指導事務、研修、防災など分野ごとの会議体を設置し担当職員間で話し合い決定したことを職員全体で共有している。	各業務が行われている理由を全体で確認していく必要があることと、またその理由が現状に合っているのかを判断していく必要もある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	32	1	年末に保護者による事業所評価を依頼。現在結果の集計中。毎年結果について事業所内で共有し、業務改善の検討資料とさせていたいている。	設備や体制上の課題はあるが、いただいた意見一つひとつについて精査し、対応可能なものから随時対応していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	28	5	グループ会議、職員全体会議などで意見交換をしている。また法人としての職員アンケートを例年実施している。	設備や体制上の課題はあるが、いただいた意見一つひとつについて精査し、対応可能なものから随時対応していく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	22	10	未回答1 市の指定管理事業であるため、定期的に市のモニタリング評価を受けている。	支援内容については一定の評価を受けている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	33	0	計画的に研修を実施している。	内部の研修は充実しているが、日々の支援がある中で、外部研修に参加できる機会が限られている。外部研修についても計画的な参加を考えていきたい。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	32	1	ホームページにてつつじ学園の取り組みを公表している。	手引きに沿った支援プログラムについては現在作成中となっている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	31	2	保護者や関係機関からの聞き取り、こどもの様子の観察などを通して評価し、支援計画に反映させている。入園後は心理職の検査結果や検査手法なども参考にしながらアセスメントを行い、計画を	こどもの現在の様子やそれにあった取り組み、目標について保護者として共有していくことの重要性を感じている。今後もその部分について丁寧に取り組んでいきたい。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	31	2	意見交換を充分にしている	一定の時間を掛けて作成する必要があるため、日々の業務との兼ね合いが課題となっている。計画的に取り組むを進め、職員や保護者との間でしっかり共有した上で作成していきたい。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	30	3	ケース記録をつける際に必ず確認している	作成した計画の内容を日々の支援の中でしっかり意識して取り組んでいく必要がある。今後も日々の記録と計画を照らし合わせる作業をしていく。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	31	2	発達段階が分かる指標表を用いてアセスメントすることを行っている。	現在活用している指標表はまだ使い始めたばかりであるため、その活用と職員間の共有の在り方についてさらに検討していく必要がある。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	32	1	ガイドライン5領域で実施	今後も適切に実施し、内容を深めていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	30	3	クラスで検討し、最終的に児発管が確認している。	検討・共有する時間が限られていることが課題としてある。対面や書面、その他ツール等も用いて共有していく必要がある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	33	0	こどもの様子により意図的に固定化することもある	内容がこども達にとって魅力的なものにしていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	33	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	27	6	朝と帰りに打ち合わせを実施	検討・共有する時間が限られていることが課題としてある。対面や書面、その他ツール等も用いて共有していく必要がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	26	7	勤務時間が短い職員もいるので、当日細かな共有が出来ない日もあるが、そういった際は翌日に行うなどしている。	検討・共有する時間が限られていることが課題としてある。対面や書面、その他ツール等も用いて共有していく必要がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	33	0		必要な内容が書かれているかは確認していく必要がある。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	33	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	32	1	基本的に担任または児発管が参画している。	関係者と会議の時間を合わせることの難しさがある。そこも含めてしっかりと連携を図りたい。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	32	1	発作等のごとについては書面で医療機関と対応の確認をすることがある。保育園と併用している児についての連携、卒園予定児についての教育委員会や所属予定の学校との連携も密に行っている。	関係機関ごとに機能や状況が違うので、支援の方向性を共有することに難しさを感じる場合もあるが、こどもを中心に考え、関係機関とも向き合っていきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	29	4	当事業所側の見たてや取り組みを説明し、そのことが併用先での関わりの一助になるよう、丁寧に対応している。	関係機関ごとに機能や状況が違うので、支援の方向性を共有することに難しさを感じる場合もあるが、こどもを中心に考え、関係機関とも向き合っていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	33	0	保護者の同意の元、申し送りを行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	24	5	必要に応じて各事業所との情報共有の機会を設けている。今年2月に当学園が事務局となり、市内の児発情報共有会を開催した。	まずは顔が見えるか関係性をしっかりと構築していきたい。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	26	3	事業所の専門職（精神科医、小児科医、心理、ST、PT、OT、NS）から適宜助言を受けている。	外部研修については普段の支援がある中で参加することに難しさを感じている。外部研修についても計画的な参加を考えていきたい。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	25	4	自立支援協議会の児童系部会の部会長を当学園が担っている。	自立支援協議会の取り組みが事業所職員に周知しきれていないため、今後は行っていることについてしっかりと共有していきたい。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	15	4	同事業所内に児発センターが併設されており、日々連携している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	24	未回答1	コロナ前までは隣接の保育園との交流の機会を作っていたが、コロナ以降その取り組みが途絶えている。先方の園とはどこかのタイミングで再開できるよう、その方法も含めて協議を続けることで一致している。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	32	0	未回答1	

保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	23	8	未回答2 家族向けの外部の研修情報などが入った際は積極的に保護者に情報提供している。今年度は歯科医師会の効力を得て 当園で個別の歯科検診を実施	自施設内で行う保護者向けの研修については今後も検討していきたい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	32	0	未回答1 入園前や新年度開始前に行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	32	0	未回答1 保護者と子どもの願いを聞いている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	32	0	未回答1	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	32	0	未回答1 定期的面談の他に適宜面談等を実施している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	30	2	未回答1 保護者会とは必要に応じて適宜連携を図っている。 部屋別懇談会などを通して、他の保護者と思いを語り合う場を設けている。	きょうだいへの支援については、小学校夏休み期間に複数の小学生きょうだい児も受け入れ、きょうだい同士の交流があったり、きょうだいにお部屋を見学してもらい自分のきょうだいがどのような活動しているか見てもらうなどしている。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	32	0	未回答1	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	30	2	未回答1 学園だより、法人ホームページ、スマホの連絡アプリなどで情報を発信している。	ホームページについては閲覧者が少ないことが感じられるため、周知の方法や内容の検討が必要である。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	31	1	未回答1 個人情報載った書類は職員室内であっても目隠し付ファイルに入れるなどの取り組みをしている。	書類だけでなくPC内のデータの扱いも含め、ルールの徹底が必要だと感じている。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	32	0	未回答1 ことばでのコミュニケーションが難しい児童が多く在籍しているため、視覚的情報も積極的に用いてコミュニケーションを図っている。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	17	14	未回答2 9月に地域の児童委員の方を招待しての見学会を実施した。	取り組みが職員間で共有しきれなかったため、今後実施された際はしっかりと共有していきたい。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	31	1	未回答1 マニュアルは職員間で共有し、訓練を実施している。一部訓練には保護者もご参加いただいている。訓練について学園だよりなどで話題に上げる	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	32	0	未回答1	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	32	0	未回答1	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	32	0	未回答1 かかりつけ医の指示書を元に対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	31	1	未回答1 計画を作成し、訓練を実施している。	取り組みについて、職員間での共有をしっかりと行う必要がある。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	31	1	未回答1 防災に関する取り組みについて、通知や学園だよりを通して周知している。	取り組みについて、職員間での共有をしっかりと行う必要がある。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	31	1	未回答1 ヒヤリハット、アクシデント報告を施設内で共有している。	取り組みについて、職員間での共有をしっかりと行う必要がある。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	31	0	未回答2	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	31	0	未回答2	